

平成 29 年度事業報告

■公益目的事業 1（「創造する伝統賞」の主催）

（定款第 4 条第 1 項第 2 項）

◆助成顕彰事業（第 24 回）

平成 29 年 10 月 17 日の理事会の審議を経て 3 名に授与した。

「第 9 回創造する伝統賞」 賞金各 100 万円

- 篠田 太郎 (52 歳) 美術家
- 名倉 達了 (32 歳) 彫刻・硯刻家
- 若獅子会 (団体) 邦楽囃子

(1) 対象

日本の伝統文化及び現代芸術の広い分野を対象とする。国籍不問。

(2) 募集応募概況

発 送 先：美術館・博物館・新聞社・雑誌・大学・財団役員他関係者・文化藝術の会会員・
歴代助成顕彰授賞者関係者・歴代奨学生・評論家・画廊・授賞式典出席者・資
料請求者

発 送 数：1,223 通

告 知：当財団 WEB サイト（ホームページ、facebook）、会報、邦楽ジャーナル、美術
の窓ほか

応募総数：58 件（一般公募 43 件、推薦応募 15 件）

(3) 選考委員会

開催日時：平成 29 年 9 月 29 日 14：00～16：30

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出 席 者：根岸吉太郎委員長、唐澤昌宏委員、古山正雄委員、茂手木潔子委員、
山本豊津委員

書面出席：柏木博委員、尼崎博正委員

役 員：北村誠副理事長（オブザーバー）

事 務 局：事務局員 2 名

選考方法：事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼した。

選考委員会当日、事前審査による候補者を各委員が発表し、応募者から提出された DVD、CD、ポートフォリオ、論文集、カタログ、パンフレット、著書、掲載書籍等を視聴及び回覧した。

各委員より応募者に対する意見を出し合い、選出候補者を絞り、さらに審議し各委員の同意の上で、選出者を決定した。

(4) 理事会の決議

平成 29 年 10 月 17 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 3 名への「創造する伝統賞」授与を決議した。

(5) 授与式典の開催

開催日時：平成 30 年 2 月 1 日（木） 15：00～18：20

開催場所：明治記念館（曙の間）

出席者：[授賞者] 篠田 太郎、名倉 達了、若獅子会
[助成顕彰選考委員] 根岸吉太郎委員長、唐澤昌宏委員、茂手木潔子委員、
山本豊津委員
[奨学金選考委員] 寺脇研委員長、成田宏紀委員、原高史委員
[専門委員] 葛西聖司委員、菅野由弘委員、中村真規委員、花光潤子委員
[役員] 徳山豊理事長、北村誠副理事長、大野木啓人常務理事、
橋市郎理事、野呂芙美子評議員、渋谷佳樹監事、
志村文衛監事
[来賓] 文化庁文化部芸術文化課課長 江崎典宏様
内容：理事長挨拶、文化庁江崎様祝辞、選考委員からの選評、賞状・賞金目録の授与、
併催の日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、授賞者紹介、記念
撮影、懇談

(6) 賞金の授与
平成 30 年 2 月 本人名義の口座に振込にて授与

(7) 授賞者の紹介
当財団 WEB サイト
授賞者紹介の小冊子を作成し授賞式で配付、その他関係者へ送付

■公益目的事業 2 (芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付)
(定款 第 4 条 第 3 項)

◆育英事業

「日本文化藝術奨学金」

平成 29 年度育英事業として「日本文化藝術奨学金」の募集を行い、平成 29 年 8 月 24 日に選考委員会を開催。平成 29 年 10 月 17 日の理事会の審議を経て、6 名を奨学生として決定した。

日本文化藝術奨学金 各 50 万円

- 越後 正志 東京藝術大学大学院 美術研究科 美術専攻 油画領域
博士課程 2 年 (30 歳)
- 木村 桃子 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 美術専攻 彫刻コース
修士課程 1 年 (24 歳)
- 國府田 姫菜 東北芸術工科大学大学院 芸術工学研究科 芸術文化専攻 洋画領域
修士課程 1 年 (23 歳)
- 坂本 久美子 多摩美術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 油画研究領域
修士課程 1 年 (27 歳)
- 瀧澤 花織 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鍛金研究分野
修士課程 1 年 (25 歳)
- 丹羽 優太 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術専攻 ペンティング(日本画)領域
博士課程 1 年 (24 歳)

(1) 対象者

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

(1) 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること

(2) 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

(2) 募集応募概況

募 集：大学院生 6名 奨学金 1年間 50万円の給付

募集期間：平成29年6月1日から平成29年6月11日（当日消印有効）

申請書類：①奨学生願書 ②推薦書 ④成績証明書 ⑤在学証明書

応募状況：36名

・前年と比べ、応募総数が減少した。（-5件）

・東京藝術大学からの応募者が増加した（+5件）

(3) 選考委員会

開催日時：平成29年8月24日（火） 14：00～18：00

開催場所：公益財団法人日本文化芸術財団 会議室

出席者：寺脇研委員長、木村博昭委員、成田宏紀委員、原高史委員、藤本由紀夫委員

書面出席：天野喜孝委員

役員：北村誠副理事長（オブザーバー）

事務局：事務局員2名

○選考資料

- ・日本文化芸術奨学金 学校別応募人数
- ・日本文化芸術奨学金 学校別過去の受給者数
- ・日本文化芸術奨学金 受給者詳細リスト ※事前送付
- ・応募者資料（応募書類一式） ※事前送付
- ・応募者資料（ポートフォリオ等参考資料）

○選考方法

- ・事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼。
- ・会議開始前にそれぞれポートフォリオを閲覧し、候補者を選出。
- ・選考委員会当日、事前審査による候補者を各委員発表し、応募者から提出されたポートフォリオ、DVD等参考資料を視聴・回覧した。
- ・同大学からの複数受給を避けるため票数の多く集まった東京藝術大学から候補者を2名以内で選出、それを超える場合は他校で次点を選出し、理事会の判断に委ねることを確認した。
- ・東京藝術大学以外で票数の多い候補者について審議し、2名を選出した。
- ・東京藝術大学で票数の多い候補者について審議し、2名を選出した。
- ・上記以外で選外となった者と、その他票数が割れた候補者の中から、特に注目する候補者についてそれぞれ意見を述べた上で、再審議し、2名を選出した。

(4) 理事会の決議

平成29年10月17日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された6名に奨学金授与を決議した。

(5) 授与式典の開催

開催日時：平成30年2月1日（木） 15：00～18：20

開催場所：明治記念館（曙の間）

出席者：[奨学生] 越後 正志、木村 桃子、國府田 姫菜、坂本 久美子、
瀧澤 花織、丹羽 優太

[奨学金選考委員] 寺脇研委員長、成田宏紀委員、原高史委員

[助成顕彰選考委員] 根岸吉太郎委員長、唐澤昌宏委員、茂手木潔子委員、
山本豊津委員

[専門委員] 葛西聖司委員、菅野由弘委員、中村真規委員、花光潤子委員

[役員] 徳山豊理事長、北村誠副理事長、大野木啓人常務理事、
橘市郎理事、野呂英美子評議員、渋谷佳樹監事、志村文衛監事

[来賓] 文化庁文化部芸術文化課課長 江崎典宏様

内容：理事長挨拶、文化庁江崎様祝辞、併催の創造する伝統賞選評、賞状・目録の授
与、日本文化芸術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、授賞者紹介、記念撮
影、懇談

(6) 奨学金給付

平成 30 年 2 月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

平成 30 年 7 月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

「加藤定奨学金」

平成 29 年度育英事業として「加藤定奨学金」の募集を行い、平成 29 年 8 月 24 日に選考委員
会を開催。平成 29 年 10 月 17 日の理事会の審議を経て、6 名を奨学生として決定した。

▶ 京都・奨学金給付大学生 3 名

○ 清水 花菜 京都市立芸術大学 美術学部 工芸科 漆工専攻
2 年 (20 歳)

○ 藤本 純輝 京都造形芸術大学 芸術学部 美術工芸学科 油画コース
3 年 (20 歳)

○ 松原 佳世 京都造形芸術大学 芸術学部 環境デザイン学科 建築・インテリア環境デザイン
3 年 (20 歳)

▶ 全国・奨学金給付大学生 3 名

○ 高橋 洋充 東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 総合美術コース
3 年 (20 歳)

○ 小俣 花名 武蔵野美術大学 造形学部 日本画学科
3 年 (20 歳)

○ 松尾 奈保 広島市立大学 芸術学部 美術学科 油画専攻
3 年 (20 歳)

(1) 対象者

次の条件を充たす者

- (1) 国内の芸術系大学の 2 年生及び 3 年生に就学し、かつ次年度在籍予定者であること
- (2) 学業優秀、品行方正でありながら経済的事由によって就学に支障をきたしている学
生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

(2) 募集概況

募 集： 大学生 6 名 奨学金 1 年間 30 万円の給付

募集期間： 平成 29 年 6 月 1 日から平成 29 年 6 月 11 日（当日消印有効）

申請書類： ①奨学生願書 ②推薦書 ④成績証明書 ⑤在学証明書 ⑥所得証明書

応募状況： 応募総数 15 名（京都 6 名、全国 9 名）

・昨年に比べ、応募総数が減少した。（京都-1、全国-3、総合-4）

(3) 選考委員会

開催日時：平成 29 年 8 月 24 日（木） 14：00～18：00

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：寺脇研委員長、木村博昭委員、成田宏紀委員、原高史委員、藤本由紀夫委員

役員：北村誠副理事長（オブザーバー）

書面出席：天野喜孝委員、

事務局：事務局員 2 名

○選考資料

- ・ 加藤定奨学金 学校別応募人数・受給者数
- ・ 応募者資料（応募書類一式） ※事前送付
- ・ 困窮度順リスト ※事前送付

○選考方法

- ・ 事前に選考委員に全応募者の資料（提出された所得証明書や応募書類より[認定所得額]（日本学生支援機構奨学金の控除額の算出方法を参考にした計算式で算出したポイント）を算出したものを含む）を送付し、閲覧を依頼。
- ・ 選考委員会当日、困窮度の高い順に出席委員全員で詳細確認をし、意見交換を行った。

【京都】

- ・ 困窮度上位者から順に、ポイントに反映されていない状況等を確認し、満場一致で 2 名を候補者として選出した。
- ・ 次点以降の応募者について、再度応募資料を確認し、本奨学金が学業を全うすることを支え、卒業後の社会貢献へとつなげる趣旨に照らし、満場一致で 1 名を候補者として選出した。

【全国】

- ・ 困窮度上位者から順に、ポイントに反映されていない状況等を確認し、満場一致で困窮度の最も高い 1 名を候補者として選出した。
- ・ 次点以降の応募者について再度応募資料を確認し、困窮の実態と応募者の熱意、将来性について議論し、満場一致で 2 名を候補者として選出した。

(4) 理事会の決議

平成 29 年 10 月 17 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 6 名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成 30 年 2 月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

平成 30 年 7 月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

■公益目的事業3（自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録）

（定款第4条第4項第5項第6項）

◆文化芸術普及活動事業

（1）創造する伝統 杜の中の文化祭

当財団の基本理念である「創造する伝統」を体現する実技者（これまでの助成顕彰授賞者）を中心とした催しを開催。杜の自然を感じながら文化・芸術に触れ、参加者それぞれがこの体験を通して、文化・芸術への興味を深め、親しむことを目的とする。

<実施概要>

① 【中今茶会】

- 日 時 : 平成29年11月11日（土）・12日（日）
会 場 : 明治神宮 隔雲亭
特別協力 : 明治神宮
協 力 : 小川流煎茶
後 援 : 京都造形芸術大学 東北芸術工科大学
参 加 費 : 茶席 一般2,000円/会員500円（事前申込制）
観覧のみ 一般1,000円/会員無料
内 容 : 明治神宮内の茶室「隔雲亭」を会場とした茶会。これまでの助成顕彰事業授賞者である須田悦弘氏（美術家/第7回創造する伝統賞）、堀木エリ子氏（和紙デザイナー/第10回日本現代芸術奨励賞）満田晴穂氏（自在置物作家/第8回創造する伝統賞）の作品を随所に配置した。
来場者数 : 137名

② 【Cross the Arts and Culture】

- 日 時 : 平成29年5月5日（金祝）
会 場 : 京都造形芸術大学外苑キャンパス
後 援 : 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学
参 加 費 : 一般1,000円/会員 無料（事前申込制）
来場者数 : のべ 290名
内 容 : さまざまな分野の文化・芸術を体験する企画。第7回創造する伝統賞授賞の繭山浩司氏（美術古陶磁復元師）の活動について紹介する場にもなった。他に、過去の日本文化芸術奨学金受給者によるワークショップを開催。

① 草木染の色あそび

- 時 間 : 10:00～12:00
場 所 : 京都造形芸術大学 外苑キャンパス
参 加 費 : 一般1,000円/会員 無料
講 師 : 帆足まおり（染織家/平成13年度日本文化奨学金奨学生）
内 容 : 日本に古くからある染色技法を学び、草木染めを体験した。
参加者数 : 26名

② 文化藝術の会 懇親会

- 時 間 : 12:30～13:30
場 所 : 京都造形芸術大学 外苑キャンパス

- 参加費 : 1,000 円
 内容 : 各プログラムの講師陣と文化藝術の会会員との昼食会を開催し、交流を深めた。
- 参加者数 : 32 名
- ③ 復元師の仕事 ～破損陶磁を未来へつなぐ～
 時間 : 14:00～15:30
 場所 : 京都造形芸術大学 外苑キャンパス
 参加費 : 一般 1,000 円/会員 無料
 講師 : 繭山浩司/第7回創造する伝統賞授賞者
 荒川正明/学習院大学教授
 金子賢治/茨城県陶芸美術館館長、当財団専門委員
 内容 : 繭山氏の仕事について具体的な例をあげて、解説。古陶磁修復の意義や必要性について、専門家の意見も聞き、考察した。
- 参加者数 : 41 名
- ④ 日本文化藝術奨学金 奨学生展「そ」
 時間 : 5/3・4 10:00-18:00、5/5 9:30-17:00
- 場所 : 京都造形芸術大学 外苑キャンパス
 参加費 : 無料
 出展作家 : 熊倉涼子 (H25 年度奨学生)
 清水総二 (H23 年度奨学生)
 永井天陽 (H26 年度奨学生)
 三鑰彩音 (H27 年度奨学生)
 吉永 蛍 (H22 年度奨学生)
- 内容 : 過去 10 年以内の日本文化藝術奨学金奨学生から、ジャンルを問わず 5 名の作品を展示した。
- 参加者数 : のべ 191 名

(2) 茶論四季おりおり

<実施概要>

① 【五山の送り火鑑賞と授賞団体住宅訪問】

- 日時 : 平成 29 年 8 月 16 日 (水)
 会場 : 杉本家住宅、京都造形芸術大学瓜生山キャンパス
 参加費 : 無料
 来場者数 : 19 名
 内容 : 京都の夏の文化と芸術を堪能し、賛助会員同士の交流を深める

① 重要文化財 杉本家住宅訪問

- 時間 : 13:30～15:30
 場所 : 杉本家住宅
 内容 : (公財)奈良屋記念杉本家保存会 (第 13 回日本伝統文化振興賞授賞) が管理・保存・修復する重要文化財「杉本家住宅」を訪問。杉本節子氏より解説をうけ、住宅・庭園・蔵等を見学した。

② 五山の送り火鑑賞

- 時間 : 19:30～21:00
 場所 : 京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス
 内容 : 京都市内でも有数の絶景ポイントでの、五山の送り火の鑑賞。受継がれる文化への考察を深めた。

② 【新しい古楽器アンサンブル ダブルトリオ演奏会】

- 日 時 : 平成30年3月23日(金) 19:00~21:00
※3月3日開催予定が、出演者インフルエンザの為延期しての開催
- 会 場 : 淀橋教会 小原記念チャペル
- 主 催 : 鈴木俊哉
- 共 催 : 公益財団法人 日本文化藝術財団
- 後 援 : 京都造形芸術大学 東北芸術工科大学
- 助 成 : 芸術文化振興基金
- 参 加 費 : 一般3,000円 文化藝術の会会員 1,000円
- 内 容 : 鈴木俊哉(第1回創造する伝統賞)、吉村七重(第1回日本伝統文化振興賞)、宮田まゆみ(第11回日本伝統文化振興賞)の当財団助成顕彰事業授賞者3名がトリオで活動する「新しい古楽器トリオ」にヴァイオリン、オーボエ、ギターを加えた「新しい古楽器アンサンブル ダブルトリオ」の演奏会を開催した。
- 参加者数 : 41名

(3) ブログ 四季おりおり ~季節の音めぐり~

- 期 間 : 平成29年4月1日より平成30年3月1日
- 更 新 : 毎月1回(1日) 全12回更新
- 内 容 : 日本各地で伝承される楽器を、季節にあわせて紹介。
- 文 章 : 茂手木潔子(当財団専門委員/日本音楽研究家・聖徳大学教授)
- U R L : <http://blog.canpan.info/shikioriori>

<掲載内容>

- ・第1回 鳥たちの聲 (4/1更新)
- ・第2回 草々の響き (5/1更新)
- ・第3回 蛙の歌が聞こえてくるよ (6/1更新)
- ・第4回 海辺にて (7/1更新)
- ・第5回 縁日にて (8/1更新)
- ・第6回 雨の季節に (9/1更新)
- ・第7回 虫の声 (10/1更新)
- ・第8回 鈴の音 (11/1更新)
- ・第9回 木の音が呼ぶ年の暮 (12/1更新)
- ・第10回 初春の響き (1/1更新)
- ・第11回 しんしんと (2/1更新)
- ・第12回 ひなまつり (3/1更新)

(4) その他

- WEBでの告知、情報公開
 - ホームページ <http://jp-artsfdn.org/>
 - facebook <https://www.facebook.com/jparts.fdn>
 - twitter <https://twitter.com/jpartsfdn>
- ・主催イベント等の告知、申込受付
- ・「創造する伝統賞」および奨学金の募集告知、資料請求受付
- ・文化藝術の会入会案内、受付
- ・これまでの助成顕彰事業授賞者、育英事業奨学生の最新の活動情報を発信
- 賛助会員システム(WEB管理システム)の運用
- 文化藝術の会会報発行(4回)